

第 83 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 3 月 8 日(月)10：00～11：00

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がりの状況、医療提供体制、感染拡大防止対策等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 宮古・八重山地域の感染状況について、宮古、八重山保健所から報告があった。
- ◇ 感染拡大の早期探知のためのモニタリング検査の実施について、総括情報部より報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、
上運天 総務統括監、宮城 企画部長、松田 環境部長、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、
谷合 産業政策課長、名渡山 子ども生活福祉部長、幸地 農政企画統括監、上原 土木建築部長、
下地 観光政策統括監、伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、
棚原 企業局長、真栄城 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、国吉 八重山保健所長
(TV会議システム参加) 金城 宮古事務所長、宮里 宮古保健所長

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から前日時点の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】
 - ✓ 昨日、18 名の新規感染者が確認された。
 - ✓ 18 名のうち 9 名が 70 代以上となっており、社会福祉施設での感染が要因となっている。
- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
 - ✓ 県立病院全体で 16 名の新型コロナ患者を受け入れており、確保病床の 19.8% を占めている。
 - ✓ 3 月 5 日から医療従事者へのワクチン接種を開始している。
 - ✓ 各県立病院では、感染状況に注意しながら非コロナの入院へのシフトを進めて

いる。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内で確認された新規感染者数について報告【資料2】
 - ✓ 昨日は日曜日のため、検査が実施されておらず、3月6日(土)は新規感染者の発生がなかったことを報告。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料3、3-1~3-9】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告
 - ✓ 療養者数、病床占有率は横ばい、新規感染者数、感染経路不明な症例の割合については、じわじわと上昇傾向が見られる。
 - ✓ 入院者数、中等症以上の患者数について、減少傾向が見られるが、依然として高い数値となっている。
 - ✓ 非コロナの病床利用率は本島合計で91.4%、全域で90.0%と、依然として高い状況が続いている。
 - ✓ 直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数を全国と比べると、沖縄県は8.77人で全国4位である。順位が高い状態で推移している。
 - ✓ 直近1週間の県内の地域別の感染状況を見ると、中部管内で前週の22人から47人へと倍増している。
 - ✓ 警戒レベル判断指標の推移を見ると、いずれの指標も下げ止まった状況となっている。
 - ✓ 新規感染者に占める60歳以上の割合について、社会福祉施設での感染の影響により高い割合となっている。
 - ✓ 中等症以上の症例数について、60人台で横ばいの状況である。

(4) 宿泊施設の運用状況について

- 総括情報部から、各地で運用している軽症者用宿泊療養施設の状況について報告【資料4】

- ✓ 那覇地区の東横インに53名の療養者を受け入れている状態である。

(5) 沖縄県人口変動状況について

- 総括情報部からKDDI Location Analyzerによる滞在人口分析データを用いた状況について報告【資料5】
 - ✓ 緊急事態宣言発出の効果により、繁華街エリア、商業エリアの人出に減少傾向が見られるが、空港エリアでは前週に比べ増加が見られる。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告
 - ✓ 那覇市内の病院でのクラスターは依然として新規感染者数が確認されており、厳しい状況が続いている。
 - ✓ 那覇市内の接待を伴う飲食でのクラスターが確認されている。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について

- 総括情報部から、宮古・八重山地域の状況を報告【資料6】
 - ✓ 宮古島における療養者数は1人、直近1週間の新規感染者数は0人。八重山は、療養者数、直近1週間の新規感染者数ともに0人となっている。
 - ✓ 両地域とも医療提供体制について落ち着いた状況にある。
- 宮古保健所から、宮古地域の状況を報告
 - ✓ 2月27日に1名確認されて以後、新規感染は確認されていない。
 - ✓ 落ち着いた状況が続いているが、島外陽性者との濃厚接触者として検査を実施している例は現在もあるため、警戒を緩めることなく、感染防止に努めているところである。
 - ✓ 十六日祭関係の陽性者、濃厚接触者は現在確認されていない。
- 八重山保健所から、八重山地域の状況を報告
 - ✓ 八重山保健所管内では、2月24日以降、新規の感染者は0人が続いている。
 - ✓ 3月に成人式を控えているため、警戒をゆるめることなく、感染防止に努めて

いるところである。

(主な発言等)

- 下げ止まりの要因として、社会福祉施設等での感染増加があるが、介護従事者へのPCR検査強化事業を実施している中で、なぜ感染が増加しているのか背景を伺いたい。
 - ✓ 総括情報部から、施設利用者が家族内で感染し、その後施設で感染が広がった事例となっている。今回の事例は、従事者からの持ち込み例ではなかったが、施設内での感染防止のため、引き続き検査強化事業を実施する旨、回答。
- 社会福祉施設内での感染を防止するためのマニュアル等を作成し、対策を徹底する必要がある。

(8) 沖縄県緊急事態宣言終了後の状況について

- 総括情報部から、推定感染源が飲食関係の市町村別陽性者数の推移について報告【資料 7-1】
 - ✓ 2月7日から13日の週に12名となって以降は、各週20名台で推移しており下げ止まりの状況となっている。特に那覇市内での感染が続いている。
- 総括情報部から、緊急事態宣言下の外出自粛要請等の効果について報告【資料 7-2】
 - ✓ 22時までの時短要請期間と比べ、20時までの時短要請期間は、外出自粛要請の効果が2倍以上となっている。
- 営業時間短縮や外出自粛の要請の効果を高めるため、各市町村に見回り活動を依頼している。その活動状況について、総括情報部から報告。【資料 7-3】
 - ✓ 2/26-2/28の期間について、実績なしの地域もいくつかあるが、緊急事態宣言期間中、最後まで市町村の協力を得ることができた。
- 移入例の陽性者の速報値について総括情報部から報告。【資料 7-4】
 - ✓ 2/9-2/15の週は1名と抑えられていたが、2/6以降、学生の帰省や仕事などで来訪した方の感染が確認されており、徐々に増加している。

(9) ワクチン対策チームの進捗状況について【資料8】

- 総括情報部から、医療従事者向けのワクチン接種に向けた対応の進捗状況について報告。
 - ✓ 対象となる医療従事者は約5万7千人。
 - ✓ 医療従事者向けのワクチン第1弾・1回目分14箱（13,650人分）が3/1・3/8の週に発送される。
 - ✓ 県立北部病院等を始めとして、3月5日から接種を開始している。
- 総括情報部から、住民向けのワクチン接種に向けた対応の進捗状況について報告。
 - ✓ 4/5の週に2箱、4/12の週に10箱、4/19の週に10箱（計22箱）が高齢者向けとして配分される。配分市町村は調整中である。

(10) モニタリング検査の実施について【資料9】

- 総括情報部から感染拡大の早期探知のためのモニタリング検査の実施について報告。
 - ✓ 国において、緊急事態宣言が解除された地域等での感染再拡大を早期に探知するよう、PCR検査を行って感染状況をモニタリングする事業を検討しており、沖縄県も対象地域となっている。
 - ✓ 市中（歓楽街、大学、空港、駅等）におけるモニタリング検査により感染状況を把握し、宣言解除地域等の合計で1日1万件程度を想定している。
 - ✓ 検査の種別は、団体検査型とスポット配布型が検討されており、国の事業ではあるが、実施する場所や事業所、団体等の選定について連携して調整を行う。

(11) 介護施設等へのPCR検査実施状況およびNAPPの運用状況について

- 総括情報部からPCR検査強化事業（介護従事者対象）の実施状況について報告。【資料10】
 - ✓ 症状がなくても定期的に検査を実施するという事業を、2月10日から開始している。

- ✓ 対象となる介護事業所は 866 施設、介護従事者は 24,531 人、3月8日時点の受検者数は 32,510 人で、1 周目が終了し 2 周目が実施されている。
- ✓ これまでに、5 件の陽性が確認され、陽性率は 0.015%となっており、当初想定していた 0.1%より低い陽性率となっている。
- 文化観光スポーツ部から NAPP 等の運用状況を報告【資料 10-1】
 - ✓ NAPP では、3/1 から 3/7 まで 440 件の検査を実施して 1 名の陽性が確認されている。検査数は、1 日平均 60 人余りで先週から減少している。2/3 からの累計検査数は約 2600 件、陽性者 2 名となっている。
 - ✓ TACO の週間実績は、サーモグラフィー通過者は約 94,000 人で、先週とほぼ同数となっている。
 - ✓ RICCA については、登録者数は 71,000 人余りとなっている。

(8～11 の報告事項に関する主な発言)

- モニタリング検査の実施について、開始はいつ頃を想定しているか、また、離島空港も対象となるのか質問があった。
 - ✓ 総括情報部から、開始時期は国の緊急事態宣言解除後となっており、宣言延長に伴い、開始時期に影響があるのか国に確認を行う。また、対象について、離島であっても検体送付の調整を行えば可能であるとのことなので、歓楽街、若しくは、空港で実施できるよう国と調整したい。
- モニタリング検査の候補地選定について、総括情報部を中心に、班長会議を実施し、各部局連携して取り組むよう指示があった。
- 移入例の陽性者数について、観光関係団体から「観光での陽性者は少ない」という意見が多くある。県外来訪者のうち、観光での来訪者数を示すことは可能か質問があった。
 - ✓ 総括情報部から、細かい区分けとして、観光目的が何名という集計は行っていない。保健所の調査票から得られる情報の中で、分かる範囲で集計することは可

能かもしれない。

- 移入例について、疫学調査の際に、県外来訪者に「観光」か「帰省」かを尋ねる場合に、表現は、観光部局で整理し、調査票の来県目的を整理する必要があると思う。
- ✓ 仕事で来ているが、ゴルフなど観光も行う場合など、仕事なのか観光なのか判断が難しい場合がある。
- 観光業界の懸念は、移入例が、観光目的での来県であると喧伝されてしまうと観光業界が萎縮してしまうということなので、観光なのか仕事なのか帰省なのかを調査、分析し、対応に繋がることが望ましい。部局間で定義等を調整するよう指示があった。

3 その他報告

特になし

4 閉 会